



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2107 URL <http://www.toyosugar.co.jp>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)小島 康之
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役管理本部長(氏名)立澤 一郎 (TEL)03(3668)7871
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,850	△3.1	506	49.4	548	47.1	382	24.4
30年3月期第2四半期	7,073	△1.9	338	△4.8	373	△7.0	307	△8.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 417百万円(29.5%) 30年3月期第2四半期 322百万円(3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	70.20	—
30年3月期第2四半期	56.41	—

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,711	8,500	72.6
30年3月期	11,431	8,246	72.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 8,500百万円 30年3月期 8,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,700	△1.6	820	8.4	890	6.4	630	△10.1
								115.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	5,456,000株	30年3月期	5,456,000株
31年3月期2Q	3,239株	30年3月期	3,215株
31年3月期2Q	5,452,774株	30年3月期2Q	5,453,021株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景とした堅調な設備投資、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中の貿易摩擦等による不透明な世界経済情勢や自然災害の増加など国内景気に与える影響が懸念される状況にあります。

このような状況下、当社千葉工場は6月にFSSC22000認証を取得し、砂糖事業・機能素材事業共により高度な食品安全マネジメントシステムを構築しております。引き続き安全・安心な製品をお客様にお届けすると共に、生産効率改善等により、収益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高6,850百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益506百万円(前年同期比49.4%増)、経常利益548百万円(前年同期比47.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益382百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

砂糖事業

販売量は、記録的な猛暑や大型台風の影響等があったものの前年並みを確保しましたが、売上高は国内砂糖相場の下落により6,246百万円(前年同期比4.0%減)となりました。営業利益は、原料・製造コストの徹底した管理により652百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

機能素材事業

飲料・健康食品向けルチン等及び化粧品原料が好調に推移したため、売上高は603百万円(前年同期比6.9%増)となりました。営業利益は、高付加価値品の販売量増加や生産効率の改善により105百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、たな卸資産の減少などがあるものの、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ280百万円増加し11,711百万円となりました。負債合計は、未払法人税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し3,211百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払があるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ253百万円増加し8,500百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.1%から72.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年8月7日付「平成31年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,361	2,852
受取手形及び売掛金	1,444	1,421
有価証券	10	-
商品及び製品	1,146	1,123
仕掛品	139	124
原材料及び貯蔵品	930	782
短期貸付金	898	925
その他	45	89
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	6,962	7,305
固定資産		
有形固定資産	1,368	1,365
無形固定資産	7	10
投資その他の資産		
投資有価証券	842	910
長期貸付金	1,755	1,706
退職給付に係る資産	51	52
その他	432	350
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,075	3,015
固定資産合計	4,451	4,392
繰延資産	17	13
資産合計	11,431	11,711

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	837	824
短期借入金	1,330	1,330
未払法人税等	89	108
賞与引当金	69	66
その他	460	448
流動負債合計	2,787	2,778
固定負債		
役員退職慰労引当金	47	53
退職給付に係る負債	317	326
資産除去債務	1	1
その他	31	52
固定負債合計	396	433
負債合計	3,184	3,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	5,246	5,465
自己株式	△3	△4
株主資本合計	8,146	8,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	131
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整累計額	1	3
その他の包括利益累計額合計	99	134
純資産合計	8,246	8,500
負債純資産合計	11,431	11,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,073	6,850
売上原価	5,757	5,374
売上総利益	1,315	1,476
販売費及び一般管理費		
販売費	488	494
一般管理費	488	475
販売費及び一般管理費合計	977	969
営業利益	338	506
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	7	6
持分法による投資利益	17	17
その他	1	14
営業外収益合計	39	51
営業外費用		
支払利息	2	2
たな卸資産廃棄損	1	3
事務所移転費用	-	2
その他	1	0
営業外費用合計	5	9
経常利益	373	548
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	373	546
法人税、住民税及び事業税	49	94
法人税等調整額	15	70
法人税等合計	65	164
四半期純利益	307	382
親会社株主に帰属する四半期純利益	307	382

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	307	382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	32
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	4	1
その他の包括利益合計	14	34
四半期包括利益	322	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322	417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	373	546
減価償却費	42	35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△3
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27	5
受取利息及び受取配当金	△21	△20
支払利息	2	2
持分法による投資損益(△は益)	△17	△17
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	-	1
売上債権の増減額(△は増加)	△179	23
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27	186
仕入債務の増減額(△は減少)	△397	△13
未払金の増減額(△は減少)	8	13
その他	70	△78
小計	△191	694
利息及び配当金の受取額	21	16
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△72	△75
営業活動によるキャッシュ・フロー	△245	632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	10
有形固定資産の取得による支出	△43	△19
無形固定資産の取得による支出	-	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△380	△410
貸付金の回収による収入	355	431
敷金の差入による支出	-	△7
敷金の回収による収入	-	2
保険積立金の積立による支出	△3	△2
保険積立金の解約による収入	-	20
ゴルフ会員権の売却による収入	-	2
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73	22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30	-
長期借入金の返済による支出	△20	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△162	△162
リース債務の返済による支出	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152	△162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△471	491
現金及び現金同等物の期首残高	2,321	2,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,849	2,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,508	565	7,073	—	7,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,508	565	7,073	△0	7,073
セグメント利益	529	79	609	△270	338

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,246	603	6,850	—	6,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,247	603	6,851	△0	6,850
セグメント利益	652	105	758	△252	506

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。